広報

キラキラ☆たまみず

平成31年4月20日 発行［玉水まちづくり協議会］
第60号

発行責任者：会　長　　小　立　記　正
連絡先：☎・Fax（079）５０６－３１６３

５月から、元号が平成から「令和（れいわ）」に、市名が篠山市から「丹波篠山市」に変わります。この節目の年に、玉水まちづくり協議会も設立10年目を迎え、さらに発展していきたいと思っています。皆様方の、ますますのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

昨年度の「総会」の様子です。

玉水まちづくり協議会「総会」のお知らせ

◆日時：5月13日（月）19:30より
◆場所：玉水会館

さて、今年度の活動計画や会計予算等を審議する「総会」を、左記のように開催します。城北地区にお住まいの方なら、どなたでもご参加いただけます。

まち協に関心のある方もあまり興味がない方も、ぜひのぞいてみて下さい。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

サツマイモの収穫体験の様子です。ここに、神戸大学生も参加してくれます。今から楽しみです。

４年前から、農業体験活動を進めています。現在、自主的に農作物を栽培しておられる方と、城北畑小学校と玉水幼稚園の子どもたちには収穫体験を呼びかけています。

［神戸大学農学部の１年生を城北地区の農家が受け入れます］

元号や市名の変わる今年度に、農業を通して神戸大学と交流ができますことは、城北地区にとってプラスになるものと、期待しています。

２回の全体会と、農家での実習が４回予定されています。お近くの畑で神戸大学生を見かけられましたら、「農業実習、頑張ってね。」と応援していただけたらうれしいです。

地域住民の方々はもちろん、子どもたちも農業体験を通して多くの人たちとふれ合い、貴重な体験の場となっています。このような「すばらしい農業体験活動」に、一緒に取り組んでみませんか。　**［まち協（☎５０６－３１６３）まで連絡して下さい。］**

2/3（日） 防災教室が開催される

「防災」について、真剣に学ぶ子どもたち。［ちびっこ防災レンジャー］が誕生しました。

一般社団法人［おいしい防災塾］の西谷真弓様を講師に迎え、幼児２人を含む子どもたち８人が防災について学びました。

まず、阪神・淡路大震災から学んだことを教えていただきました。

・水道や電気が通っている間に避難すること
・道路が通れないことがあること
・ガスが漏れていることがあること

こんなことに気をつけながら避難しても、避難所では、お菓子がなかなか届かなかったので、子どもたちの表情が暗かったそうです。そこで、西谷様がお菓子を配って歩かれ、そのことがきっかけとなり、「お菓子を使ったポシェット作り」へとつながりました。

「ちびっこ防災レンジャー」の約束

・自分の命は自分で守る。　・自分の物は自分で用意する。
・正しい知識を身につける。

①電気が止まったら、ブレーカーを落として避難する。逃げながら、隣に知らせる。
②ガスは、まず身の安全を確保してから止めるようにする。
③幼い子がいなかったら、フロに水をためておく。
④１日に必要な水の量は、大人は３ℓ、子どもは１ℓ。
⑤１次非常持ち出し袋は、すぐに持って出られるように玄関に置いておく。

3/30（土） ［城北畑児童クラブ］開所式 行われる

篠山のマスコット「まるいのとまめりん」も参加して、テープカットが行われました。

城北畑小学校の南側に、城北畑児童クラブが誕生しました。その開所式が、酒井篠山市長や城北と畑両地区の自治会長さんたちの参列のもと、盛大に行われました。

右の写真は、児童クラブの室内の様子です。天井が高く、とても明るいです。使われている木材は、畑地区で伐採されたものだそうです。子どもたちは、幸せですね。